

横浜グリーンエキスポ 横浜市出展「建物空間を活用した発信拠点」 株式会社JVCケンウッド・公共産業システムを代表とする企業グループと協賛契約を締結 ～振動をエネルギーに変換する環境発電デバイスに関する展示物の貸与～

横浜市は、横浜グリーンエキスポ会場に、地球にやさしい暮らしや環境とのかかわりを身近に体感できる2か所の拠点をつくります。そのうち、Urban GX Village内の「建物空間を活用した発信拠点」では、未来に向けて挑戦する市民・企業の皆さまとともに、「ライフスタイル・ゾーン」「フューチャー・ゾーン」の2つのゾーンを通じて、横浜が目指す循環型の未来のまち・暮らしを発信します。

この発信拠点において実施する先進技術の展示体験について、展示物や機器・建材等の貸出・提供に向けた協議を進めてきた結果、このたび、株式会社JVCケンウッド・公共産業システムを代表とする企業グループとの間で合意に至り、令和8年9月25日に先進技術の展示体験に関する協賛契約を締結します。

1 協賛契約の相手先

代表構成員 株式会社JVCケンウッド・公共産業システム
構成員 国立大学法人京都大学大学院工学研究科
株式会社JVCケンウッド

JVCKENWOOD



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

2 協賛内容

スピーカーの原理を応用して振動を電気エネルギーに変換する環境発電デバイス「エネルギーハーベスター」に関する展示物の貸与

3 来館者に提供する体験内容

人や構造物による身の回りの“振動”が生み出す微量なエネルギーを収穫（ハーベスト）して電力に変換する「エネルギーハーベスター」の仕組みや発電イメージを紹介します。これまで十分に活用されてこなかったエネルギーが資源として利用され、電池や外部電源に依存しない持続可能なエネルギー供給の可能性について理解を深めることを目指します。

なお、本協賛に関連する技術・取組については、[株式会社JVCケンウッド・公共産業システムのプレスリリース](#)をご参照ください。



リリースページ

4 先進技術の展示体験を通じて伝えたいメッセージ

「世界の明日を、みんなでひらく。Circular City YOKOHAMA」をコンセプトに、サーキュラー（循環）に挑戦する協賛企業の皆さまとともに、未来にときめく体験空間を創りあげ、横浜が目指す循環型の未来の暮らし・まちを発信します。そして、暮らしの「気づき」と「きっかけ」から生まれる一人ひとりの行動を、先進技術がもたらす「未来への希望」につなげていきます。

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

5 建物空間を活用した発信拠点の概要



園周路

ライフスタイル・ゾーン

自分に合った地球にやさしい「新たな
ライフスタイル」と出会う

フューチャー・ゾーン

サーキュラーに挑戦する企業が集結、
技術が支える横浜の未来に触れる



※詳細については、[横浜市ホームページ](#)をご参照ください。

お問合せ先

GREEN×EXPO 推進課担当課長 齋藤 TEL:045-671-4919



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

